また、大関争いをしていた四季嶋と綱乃花がともに先場所負け越したことで出直しとなり、それに代わって名乗りを上げたのが元大関の鬼ヶ嶽。

先場所、小結で9勝を上げて再び大関返り咲きを狙う。136回（2014年）に大関から陥落して10年の月日が経つ。ベテランの挑戦に大いに注目したい。

場所前の稽古総見ではあまり元気がなかった大関を狙う鬼ヶ嶽だったが、星を拾う相撲で3連勝と4横綱にとって嫌な存在になりそうだ。

鬼ヶ嶽と反対に稽古総見でいい相撲を取っていた綱乃花は二日目に大神楽を破るなど、上位にとって警戒すべき存在となりそうだ。

鬼ヶ嶽〇（引き落し）●烏帽子

綱乃花〇（寄り切り）●大神楽

夢ノ花〇（寄り切り）●春ノ翔

櫻吹雪〇（上手投げ）●雪若丸

新たな昇進としては磯ノ海部屋の磯自慢と香具山部屋の夢ノ花が新小結に昇進。夢ノ花は香具山部屋創設してから初めてのうれしい三役誕生。

しかも初日に春ノ翔三日目に西神門を破る大活躍ぶり。今後の取り組みに注目だ。

また、新入幕の櫻吹雪は住ノ江部屋としては大嵐以来久しぶりの幕内力士の誕生となった。

今場所も話題豊富な中、横綱千代鈴、横綱若ノ嶋、関脇鬼ヶ嶽、平幕の綱乃花に加え、鉄甲、照の王、英筏、桃乃洲、若巨の9人が3連勝と好スタートを切った。

龍不動●（押し倒し）〇鉄　甲

英　筏〇（寄り切り）●剛勇山

照の王〇（押し倒し）●月　山

若　巨〇（寄り切り）●六歌仙

十両は春日根、磯ノ海勢のみ3連勝

まだ三日目が終わったばかりだが、4横綱にはこのまま白星を重ねて終盤での優勝争いを期待したい。次回は10月12日に開催の予定。乞うご期待。（錦風）

十両も三日目までを終えて十両初優勝を狙う大石丸に同部屋の西の富士、磯ノ海部屋の磯蛍とベテラン超刃の4人が3連勝とした。

毎場所優勝候補に上がるものの、まだ優勝のない大石丸。今場所で十両4場所目となり

伊達富●（押し倒し）〇大石丸

今場所こそは優勝を手土産に幕内へと駆け上がりたいところだろう。3日間とも万全な取り口で安定度では申し分ない相撲を見せた。

先場所東筆頭で負け越しに終わった西の富士。東三枚目に下がった今場所は肩の力も抜けたようで幸先よく白星を3つ並べた。他の春日根の力士に比べて存在感は薄いが地道に地力を付けてきていて今場所は意外と昇進となるかもしれない。

春日根勢に負けずに磯ノ海の新鋭とベテランコンビも好スタート。

磯蛍は先場所7勝を上げ磯ノ海親方も十両でもやれると確信しただろう。二日目には寶蔵を華麗に投げ切って軽快な動きも見せた。

春日根軍団にどこまでついていけるか四日目以降も期待したい。

西富士〇（寄り切り）●若雲山

磯　蛍〇（下手投げ）●鳥海波

そして今場所もし大負けするようなことがあれば、幕下陥落も懸念されるのが超刃。しかしその不安を払拭するような相撲で3連勝と意地を見せた。3戦ともに左を差して寄っての勝利。

特に総見に先立って行われた十両トーナメント戦で優勝した音柱に左を差し勝った相撲は全盛時の取り口を彷彿とさせた。

超　刃〇（寄り切り）●音　柱

だが英親方が「もし幕下に落ちたら流石に引退だよね」と言うと「いや、まだまだやめないよ、40歳まで取るよ」と直雨や伊達、貴錦らを目標にボロボロになるまで取らせる意向を示した。相変わらず力の気持ちを考えない残念な磯ノ海親方だった。

先場所東二枚目で昇進に十分な星を上げながら番付の兼ね合いで入幕が叶わなかった鹿麒麟。初日から気合を入れて臨んだものの1勝2敗の滑り出し。

東筆頭と言われている鬼門や不安な面もものぞかせるが、勝ち越せば当然昇進一番手となるだけにそこは意識せずに平常心で勝ち星を積み上げていきたい。

大石丸〇（寄り切り）●鹿麒麟

今場所の新十両は春日根部屋の音柱と香具山部屋の黒夢心（くろむしん）。先場所幕下優勝の音柱、またしても春日根部屋から黒船来襲といったところか。他の部屋の力士にとってはまたも脅威の存在となってきそう。

十両トーナメントでも圧巻の相撲を見せ、三日目は黒星で3連勝スタートとはならなかったが、今場所の活躍が十分に期待されそうで一気に優勝争いにも加わっていきそうな感じだ。

ようやく香具山部屋に夢ノ花に続いて黒夢心が関取に昇進。実は黒夢心の方が夢ノ花よりも初土俵が一場所早く兄弟子ということなるが、今回の昇進まで苦労した分まずは勝ち越しを目標に、ゆくゆくは夢ノ花に追いつきたいところ。

初日は虹ヶ谷に敗れたものの、逆元春と椿富士には左差しから慎重に寄り切って白星先行とした。（勝間田）

黒夢心〇（寄り切り）●逆元春

椿富士●（寄り切り）〇黒夢心